

## 常置委員会・研究部会の新規委員・部会員の募集

一般社団法人 日本応用地質学会 会長 徳永 朋祥

本学会では常置委員会として、管理運営部門（総務、編集、事業企画、国際、広報・情報）及び研究教育部門（研究企画、応用地質学教育普及、ダイバーシティ推進）を設置し、研究教育部門のなかに研究部会（地下水、応用地形、環境地質、災害地質、土木地質）を置いています。常置委員会では、学会運営の一部を担当し、魅力ある学会活動のさらなる充実と発展を目指して活動を行っています。また、各研究部会では、応用地質学に関する特定分野の研究、応用地質学分野における技術の伝承活動を推進するために、以下の活動を行っています。

①応用地質学に関する基礎的な研究の継続と、研究成果の研究発表会、シンポジウム、学会誌などでの適宜公表

②応用地質技術者の育成

③アウトリーチ活動を通じた応用地質分野の魅力発信

このたび、常置委員会の広報・情報委員会、応用地質学教育普及委員会、ダイバーシティ推進委員会、研究部会の応用地形学研究部会、環境地質研究部会、災害地質研究部会で新たに委員会・研究部会の活動を担っていただく委員・部会員を以下の要領にて募集いたします。

### 記

・委員募集をする研究部会等：広報・情報委員会

応用地質学教育普及委員会

ダイバーシティ推進委員会

応用地形学研究部会

環境地質研究部会

災害地質研究部会

・求める人材と活動内容

#### 【広報・情報委員会】

・広報・情報委員会は、応用地質学の重要性と魅力を学会内外に広く発信する活動を行う学会運営の中核的な委員会です。当委員会では、学会活動や研究成果に関する情報をタイムリーに伝えるため、情報発信に積極的なメンバーを募集しています。年4回程度の委員会開催に加え、SNS やウェブサイトを通じた情報発信を行っており、最低限の情報リテラシーを有する方を歓迎します。特に、20代～40代の若手・準若手会員の皆様のご参加をお待ちしております。私たちと一緒に、応用地質学の魅力を社会へ発信してい

きましょう。

#### 【応用地質学教育普及委員会】

- ・当委員会では、応用地質学の体系化を検討し、それに基づいた教育プログラムの創出・運営と、応用地質学の学問としての社会的普及を目指しています。コアや露頭の観察、地表地質踏査に関する講習会や技術者倫理講習会を企画・運営しており、これらに参画して自身の調査スキルや教育スキルの向上を図りたい方、そのノウハウを支部での技術者教育や自社のキャリア教育に活用したい方を募集しております。

#### 【ダイバーシティ推進委員会】

- ・当委員会は、学会活動の活性化を目的に、多様な会員が活躍できる環境整備、応用地質学の多様化実現のための機会の創出を行っています。今回、会員・非会員同士の交流の場の設営、学会環境整備を一緒にしていただける方を募集します。年齢・性別・所属は問いません。年5回の委員会、キャリアデザインセミナー、アース・サロン、コラボセミナー、会誌・WEB記事連載等を行います。活動内容については、委員会のホームページ ([https://www.jseg.or.jp/committee/diversity\\_committee/](https://www.jseg.or.jp/committee/diversity_committee/)) をご覧ください。

#### 【応用地形学研究部会】

- ・応用地形学研究部会は、地形学を社会基盤整備に応用する理論と知識の体系化を目的とした研究部会です。年4回開催される部会では、応用地形学に関する“サロン”として、部会員による自由な話題提供と議論を行っています。また応用地形学的な視点での巡検を年1回実施し、その成果を「巡検マップ」にまとめ研究発表会で配布する等学会内外に発信しているほか、新たに「ロックコントロール」に関する研究に取り組もうとしているところです。応用地形学の理解を深め、技術を身につけたい方、またその有用性を発信することに関心のある方など、広く募集いたします。

#### 【環境地質研究部会】

- ・当研究部会では、応用地質分野を基盤として、人の生活や社会活動のために広い意味での環境と地質に関係する課題にどのようにかかわっていくか、興味を持ち取り組む意欲がある人材を募集します。環境の概念は幅広く、新しい展開を多く含むと考えており、実務・研究の経験年数や年齢は問いません。年6回の定例会、巡検や個別テーマの継続的研究・学会発表を行います。現在の活動内容については、研究部会の学会ホームページ (<https://www.jseg.or.jp/committee/kankyo/>) および令和7年10月8日～10日開催の研究発表会の展示ブースをご覧ください。

#### 【災害地質研究部会】

- ・当研究部会は、地震や斜面災害などの地質災害に対し応用地質学的な調査・研究により知見を見だし、被害軽減や迅速な復旧に寄与することを目指して活動を行っています。平常時には情報共有、教育、アウトリーチ活動を行うとともに、災害時には現地調査・解析に取り組んでいます。関心のある全国各地の方を募集します。

- ・委員の任期：令和8年6月から2年間（任期前の就任、および任期後の再任も可能です）

・旅費等の支給：原則としてなし

・応募にあたっての必要情報：

氏名

勤務先

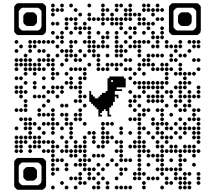
住所・電話番号・電子メールアドレス

応募する研究部会等名称

・応募期日：令和8年3月末日（第2次の期日としますが、これ以降の応募も随時受け付けます）

・応募先：Google Formに入力，または学会事務局までご連絡ください。

Google Form <https://forms.gle/AH9qdz8Fzi2Eig9d6>



一般社団法人 日本応用地質学会 事務局

住所 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-14 お茶の水桜井ビル 7F

電話 03-3259-8232 （FAX:03-3259-8233）

メール [office@jseg.or.jp](mailto:office@jseg.or.jp)

以上